㈱三松 '06.4.13 遊谷

三松 藤沢 本県初の取得

環境対策に「お墨付き」

エコアクション21認証

エコアクション21認定証を手にする三松の渋谷喜一工場長（左）ら

汚染物質を削減

環境省所管の地球環境戦略研究機関持続性センターが認証・登録する中小企業向け環境管理システム「エコアクション21（EA21）」を、藤沢町の金型など設計製造業三松（木村岩吉社長、社員三十人）が本県で初めて取得した。この制度は企業の負担が比較的少ないことが特徴で、商取引に有利に働くだけでなく経費節減もできる。全国的に環境に配慮した企業体質を求める動きが強まる中、ニーズは高まりそうだが、知名度が低いのが現状。県環境カウンセラー協議会（藤本敬孝理事長）は十九日、北上市で初のセミナーを開催し、制度の周知を図る。

EA21は企業の環境管理対策に「お墨付き」を与える制度。二〇〇四年十月、第三者による審査制度を設け、本格的にスタートした。本県では昨年九月、花巻市に地域事務局「銀河」（菊池統一代表）が設立され、動きだしたばかりだ。

EA21は既成のガイドラインに沿って①環境経営システムの構築②二酸化炭素や汚染物質の排出削減③環境活動報告書の作成―に取り組み、基準を満たすと認証される。

国際規格のISO14001と比較すると、登録にかかる費用は約十分の一（平均約三十万円）。国際取引では通用しないが、ハードルは低い。

〇四年の新制度移行後、本県で初めて取り組んだ三松は、取引先から環境管理システムの構築を求められたことが取得のきっかけとなり、三月に認証された。

渋谷喜一工場長は「暖房費だけを見ても昨冬と比べて30％ほど削減できそう。従業員の省エネ意識も変わってきた」と語る。

同協議会は制度について理解を深めてもらおうと、十九日午後一時半から北上市相去町の北上オフィスプラザでセミナーを開く。菊池代表は「商取引の関係上、必要性が高まってくる制度。企業の優良性を判断する材料にもなってくる」と受講を呼び掛けている。

セミナーでは菊池代表らが制度を紹介するほか、個別相談にも応じる。募集業種は産廃処理業、製造業、サービス業など。

参加費は三千円。問い合わせは銀河（0198・31・2884）へ。

衛生管理に優良認定

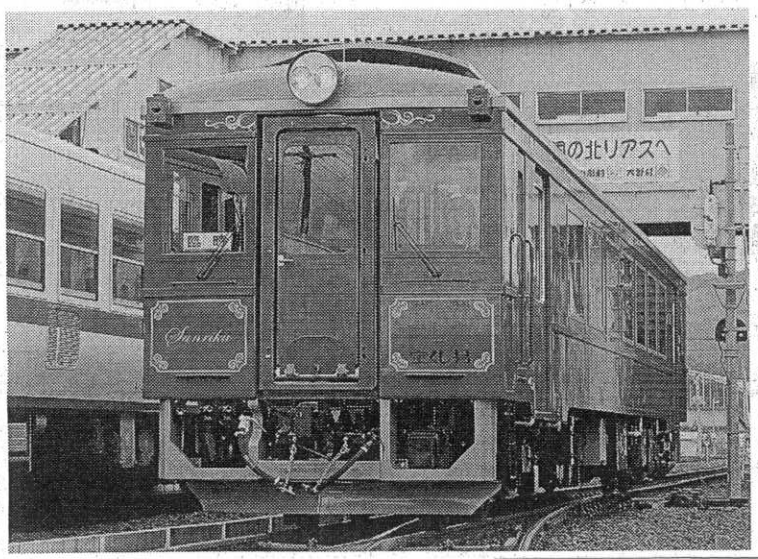
宮古市魚市場

洋野町営八木魚市場

件。大日本水産会が二〇〇五年度から創設した。今回は本県の二魚市場のほか、鹿児島県の笠沙町漁協水産物小規模卸売市場が認定を受けた。

春の装い　レトロ列車

三鉄の久慈事務所 新車両の安全祈願



試運転に出発する「さんりくしおさいII号」

三陸鉄道（竹沢久嗣社長）は十二日、久慈市の同社久慈鉄道事務所で、一月に引退した新型レトロ調列車「さんりくしおさいII号」の後継車両「さんりくしおさいII号」の安全祈願祭を開いた。

竹沢社長は「立派な車両に負けず、サービスなどソフト面の強化にも力を入れ、春の観光シーズンに県内外から観光客をお迎えしたい」とあいさつ。

GW観光は三鉄でGO

キャラバン本社を訪問

三陸鉄道（竹沢久嗣社長）の「春旅キャンペーン」PRキャラバンは十二日、盛岡市の岩手日報社を